

脱炭素化に向けた県の施策

令和7年6月10日
福井県エネルギー環境部

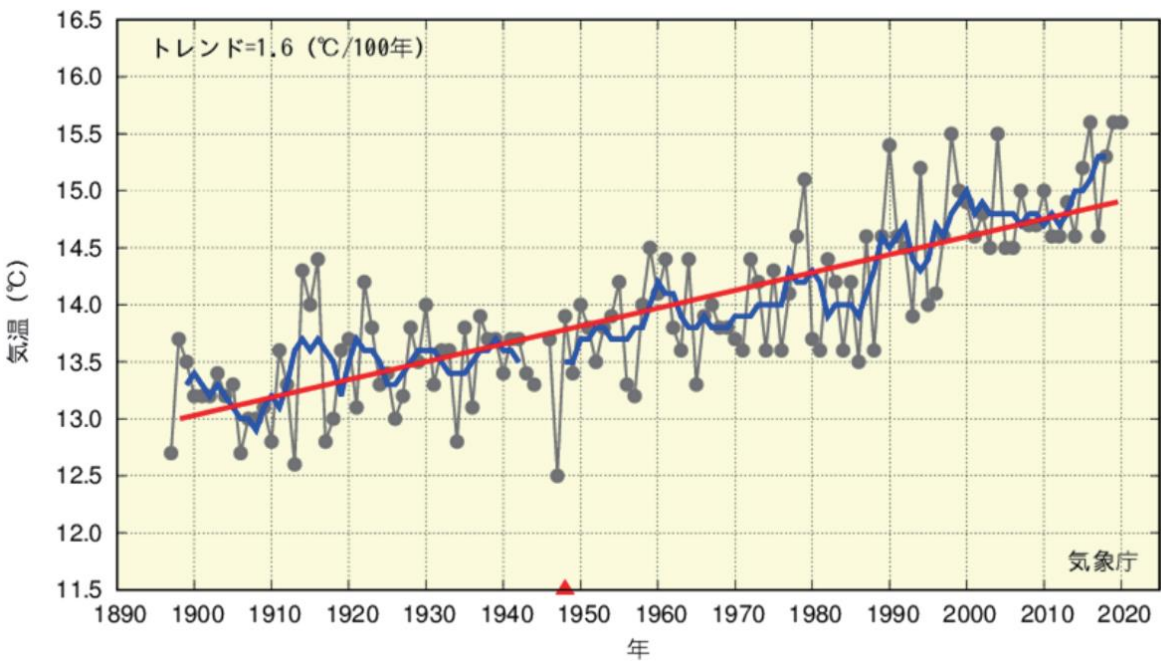
1 福井県を取り巻く現状

2 福井県の取組み

福井県における気候変動の影響

- 福井市の年平均気温はこの100年で約1.6℃上昇している。
- 福井地方気象台の発表によると、今以上の温暖化対策を取らなかった場合、21世紀末に4.4度気温が上昇するとしている。

■福井市のこれまでの気温の変化



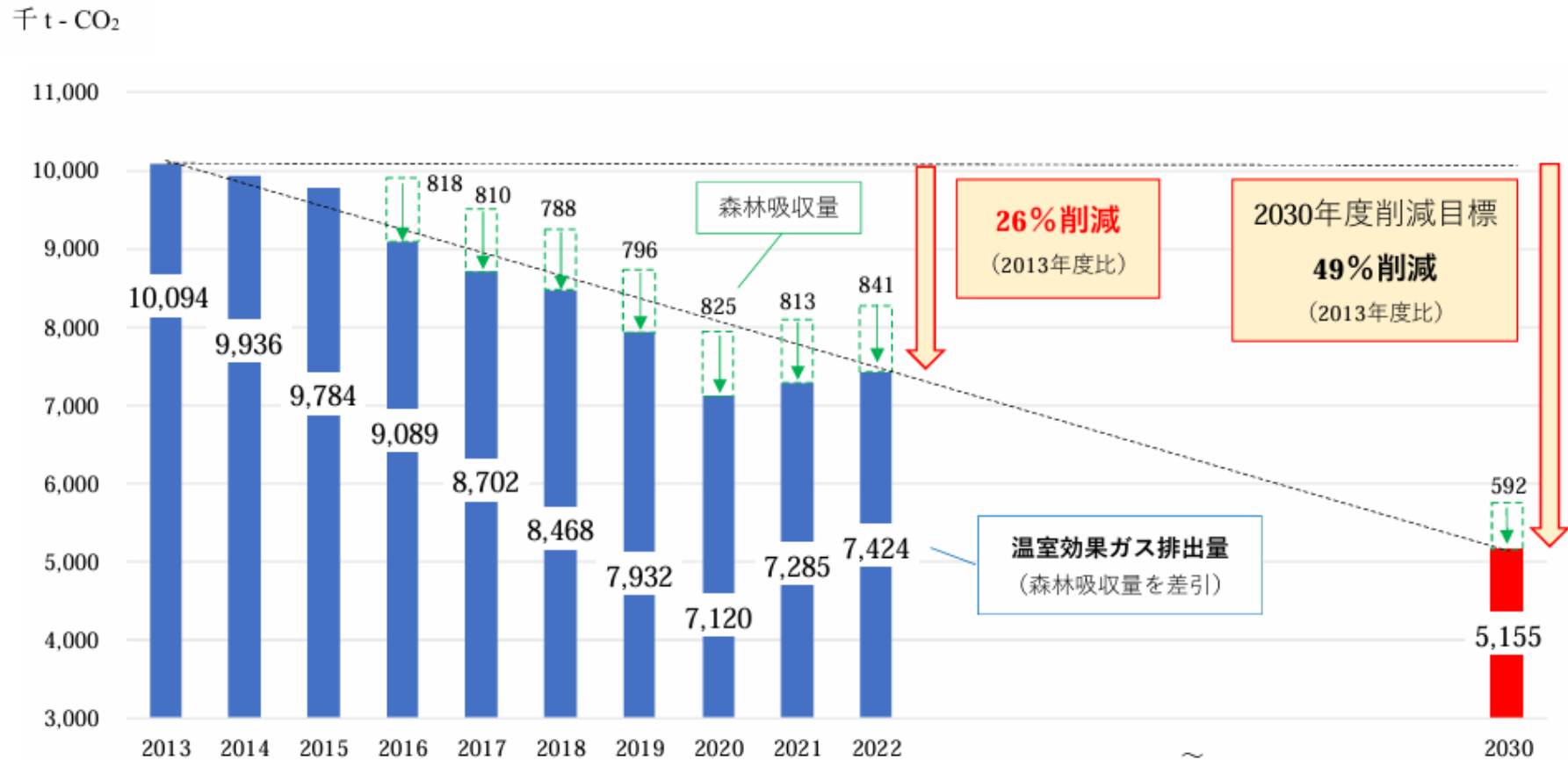
出典) 福井地方気象台「福井県の気候変動」

■福井県の気候変動（今以上の温暖化対策を取らなかった場合）

	20世紀末	21世紀末	増減
年平均気温	14.3度	18.7度	4.4度上昇
猛暑日	2日	30日	28日増
真夏日	36日	91日	55日増
熱帯夜	8日	63日	55日増
冬日	42日	1日	41日減
年最深積雪	60cm (福井市)	12cm	80%減

本県の温室効果ガス排出状況について

- 2021年度の確報値と2022年度の速報値を算定し、本年2月21日に公表
- 2022年度には2021年度比で増加している。2021年度から2022年度にかけてコロナ禍からの脱却が進み社会経済活動の回復が見られており、**経済動向等が影響**したと考えられる。



【図1】 福井県の温室効果ガス排出量

1 福井県を取り巻く現状

2 福井県の取組み

福井県環境基本計画（主な取組み）

- 2050年の温室効果ガス排出実質ゼロ、2030年度の温室効果ガス排出量（2013年度比）**49%削減**を目指す
- 温暖化対策**として、**エネルギー源の転換**、**省エネの推進**を二本柱とし、各部門の排出削減を強力に推進
- 再生可能エネルギー**については、地域資源を活用し、**自然環境への配慮**や**地域住民の理解**を得ながら**導入拡大**

エネルギー源の転換

【家庭部門】

- ・ ZEHなど次世代住宅の啓発活動
- ・ 太陽光発電を備えたスマートタウン整備など市町の取組みを支援

【運輸部門】

- ・ **ガソリン車から次世代自動車（EV・PHV・FCV）への転換支援**
- ・ EV充電インフラなど次世代自動車の利用環境整備を支援
- ・ 県・市町における次世代自動車の率先導入、イベントでの利活用による普及広報

【産業・業務部門】

- ・ **工場等における企業の太陽光発電および蓄電池の導入を支援**
- ・ ふくいオープンイノベーション推進機構において、省エネや再エネも含めた脱炭素連技術分野における技術開発を支援
- ・ 水素製造・発電実証プラントの整備・活用、水素・アンモニアの地域企業の利用促進

省エネの推進

【家庭部門】

- ・ **節電を中心とした省エネ県民運動を展開（省エネ家電への買替促進、節電キャンペーンの開催など）**

【運輸部門】

- ・ 公共交通機関の利用などスマートムーブの取組みを推進
- ・ 海上輸送など企業のモーダルシフトを支援

【産業・業務部門】

- ・ 業種別省エネガイドラインを活用した企業の省エネ活動の普及
- ・ **企業の省エネ・省CO2設備の導入を促進**
- ・ カーボンニュートラル推進企業の表彰

再エネの導入拡大

- ・ 太陽光発電や陸上風力発電などの再生可能エネルギーを、自然環境に配慮し、地域住民の理解を得ながら導入
- ・ 市町と連携し、地域資源を活用した小水力発電等の導入を支援
- ・ 洋上風力発電について、漁業者をはじめとする関係者の理解を得ながら推進

企業の太陽光・蓄電池設備導入促進事業補助金



事業者の皆さま！

太陽光・蓄電池設備導入補助金

を使って脱炭素化の取組みを進めませんか？

太陽光

☑️ 最大500万円 (5万円/kW)

蓄電池

☑️ 最大630万円 (補助率1/3)

※補助金額の詳細は裏面参照

最大
1,130万円

申請期間

2025年4月14日(月)～10月31日(金)

※申請総額が予算上限に達した時点で受付を終了します



補助対象

- ①県内に引き続いて1年以上事業所を有する民間事業者
- ②リースモデルにより①に提供するリース業者



補助要件

- ✓太陽光発電及び蓄電池設備をセットまたは太陽光発電設備を単独で導入すること
 - ✓J-クレジット制度やFIT/FIP制度への登録を行わないこと
 - ✓国または自治体等から他の補助等を受けていないこと
- ※その他の要件については県HPで公開している補助金交付要領をご確認ください



本補助金を利用した皆さまの声

- 電力デマンドを気にせず工場をフル稼働できた。毎月の電気代を抑えることができた。
- クリーンエネルギーで生産していることを、社外に対しPRができた。
- 社員が脱炭素・省エネに関心をもち新たな事業提案があるなど、環境意識が向上した。

エネルギー源の転換

産業部門

募集中

(1) 募集期間

令和7年4月14日～10月31日

(2) 対象者

- ①県内に引き続いて1年以上事業所を有する民間事業者
- ②リースモデルにより①に提供するリース事業者

(3) 補助金額

○太陽光発電設備

- ・蓄電池セット 5万円/kW
- ・太陽光単独のみ 3万円/kW

○蓄電池設備

- ・蓄電池の価格の1/3の額
(工事費込み・税抜き)

住宅の太陽光・蓄電池設備導入促進事業補助金



ご家庭の皆さま！

太陽光・蓄電池設備導入補助金

を使って電気代・CO2削減を進めませんか？

最大60万5千円

太陽光

最大35万円
(7万円/kW)

※単独の場合は、5万円/kW

蓄電池

最大25.5万円
(蓄電池価格の1/3)

2025年5月1日(木)～10月31日(金)まで
県内各市町において申請受付中！

※募集開始時期の異なる市町や未実施の市町もあるため、
詳細等についてはお住いの市町にお問い合わせください。

補助要件

- 太陽光発電及び蓄電池設備をセットまたは太陽光発電設備を単独で導入すること
 - J-クレジット制度への登録を行わないこと
 - FITまたはFIP制度の認定を取得しないこと
 - 補助対象設備で発電する電力量の30%以上を自家消費すること
 - 国または自治体等から他の補助等を受けて事業を実施するものでないこと
- ※その他の要件については裏面をご覧ください

エネルギー源の転換

家庭部門

募集中

(1) 募集期間

令和7年5月1日～10月31日

(2) 補助金額

○太陽光発電設備

- ・蓄電池セット 7万円/kW
- ・太陽光単独のみ 5万円/kW

○蓄電池設備

- ・蓄電池の価格の1/3の額
(工事費込み・税抜き)

○補助上限額

最大60.5万円

(3) 実施主体

県内市町（県からの間接交付）

次世代自動車普及促進事業補助金



次世代自動車購入 補助制度のご案内



環境にやさしい車を購入される方へ
福井県から**補助金**がでます！！

電気自動車(EV)
プラグインハイブリッド自動車(PHV)

定額 **10** 万円

燃料電池自動車(FCV)

定額 **50** 万円

補助対象

- ☒ 県内に住所を有する個人(個人事業主を含む)
 - ☒ 県内に事業所を有する法人
 - ☒ 上記とリース契約を締結したリース事業者
- ※上記のいずれかに該当していること

補助要件

- ☒ 令和7年4月1日(火)以降に国補助金の交付決定を受けていること
 - ☒ 自動車検査証の「自家用・事業用の別」が自家用であること(タクシー業、運送業等の車両が事業用となる)
- ※全ての要件を満たしていること

令和7年
4月14日(月)
から
令和8年3月31日(火)
まで申請受付！

注意事項

- 申請受付は先着順とし、申請総額が予算上限に達した時点で受付を終了します
- 国補助金の終了時は県補助金も終了します

福井県エネルギー環境部

手続きは裏面をご覧ください

エネルギー源の転換

運輸部門

募集中

(1) 申請期間

令和7年4月14日～令和8年3月31日

(2) 補助対象者

- ①県内に住所を有する個人、
個人事業者、法人
- ②①とリース契約を結んだリース
事業者

(3) 補助要件

令和7年4月1日以降に国補助金の
交付決定を受けていること など

(4) 補助金額

EV・PHV 定額**10**万円
FCV 定額**50**万円

企業における省エネ設備等導入支援事業補助金

企業における省エネ設備等導入支援事業補助金

エネルギー価格高騰ならびに脱炭素社会の推進に対応した経営体質への転換を加速するため、県内で製造業または商業・サービス業を営む中小企業者が行う省エネルギー性能・省CO2性能に優れた設備の導入を支援します。

補助事業者	次の各号に掲げる要件をすべて満たす者 (1) 福井県内に事業所を有する中小企業者であること (2) 製造業または商業・サービス業を営む者であること (3) 福井県の県税および地方消費税に滞納がないこと (4) 「ふくい女性活躍推進企業」に登録していること（個人事業主を除く） (5) 補助事業の導入効果の検証または情報発信に協力すること
補助事業の内容	製造業または商業・サービス業に使用する既存の稼働設備を以下(1)から(5)の設備へ更新する事業（ただし(5)は製造業に使用する設備とする） (1) 既存の照明機器等に対して30%以上省CO2効果のあるLED (2) 調光制御機能を有するLED (3) 既存の空調機器等に対して30%以上省CO2効果のある高効率空調機器 (4) 既存の給湯機器等に対して30%以上省CO2効果のある高効率給湯機器 (5) 既存の生産設備に対して30%以上省CO2効果のある高効率生産設備（既存の生産設備に対して30%以上省CO2効果をもたらす省エネ機能を付加する場合を含む） ※一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入が2027年までに段階的に廃止されます。LED照明への計画的な更新が必要となりますのでご注意ください。
補助対象経費	設備費のみ （設置工事費、撤去費、廃棄費、運搬費等は補助対象外）
補助率	1/2以内
補助金の上限額	600万円
採択予定数	100件程度
募集期間	令和7年5月30日（金）から令和7年11月28日（金）まで （予算の範囲内で先着順に受付を行いますので、募集期間内であっても、予算がなくなり次第、受付を終了します。）
手続きの方法	手順1 事業者は、福井県 産業技術課のホームページから事業計画書の様式を入手し、必要な事項を記載して事務局へ提出 手順2 事務局が内容を審査後、審査結果を事業者へ通知 手順3 事業者は交付申請書を作成し、事務局へ提出 手順4 事務局が内容を確認後、交付決定を事業者へ通知
その他	・補助金の詳細は、福井県 産業技術課のホームページに掲載している「交付事務マニュアル」でご確認ください。 ・「事業計画書」をはじめとする各種様式についても、産業技術課のホームページからダウンロードできます。

【書類提出先】
〒910-8799 福井中央郵便局留め
企業における省エネ設備等導入支援事業補助金事務局 あて
【問合せ先】
TEL：050-8894-7005 Mail：fukuisyouene2025+co@gmail.com

福井県 産業技術課
検索

省エネの推進

産業部門

募集中

(1) 募集期間
令和7年5月30日～11月28日

(2) 対象者
福井県内に事業所を有する中小企業者であり、製造業または商業・サービス業を営む者であること など

(3) 補助対象設備
調光機能を有するLED照明、既存機器に対して30%以上の省CO2効果のあるLED照明・空調機器・給湯機器・生産設備

(4) 補助内容
補助率1/2以内、補助上限額600万円

カーボンニュートラルに向け取り組む企業への応援

「ふくいSDGsパートナー」登録制度の中で

カーボンニュートラルに向けた取り組みを 宣言する企業・団体を募集します！

2030年度の県内の温室効果ガス排出量の49%削減(2013年度比)、2050年カーボンニュートラルを
実現していくため、それに向けて具体的に活動する(宣言する)企業・団体を募集します。



ふくい
SDGs



2050年
カーボン
ニュートラル

+

「ふくいSDGsパートナー」登録基準

- SDGsの達成に向けた活動の方針について
代表者の考えが宣言されていること
- 具体的なSDGsの活動内容について県に
報告していること など

登録メリット

- 県ホームページによる対外的なPR実施
- 公式ロゴマークの使用可
- 県のアドバイザーの紹介
- 県発注工事の入札参加資格審査の加点評価
- 県制度融資における支援 など

**カーボンニュートラル
宣言企業・団体 要件**

- ふくいSDGsパートナーに登録のうえ、
カーボンニュートラルの実現に向けた活動を
1つ以上取り組むこと(その内容を宣言)

登録メリット

- カーボンニュートラル推進企業表彰
への応募可能
- メーリングリストへの登録可能
- 県ホームページによる企業・団体名の掲載 など
(宣言メリットは今後追加予定)

+

カーボンニュートラルに向けて、
こんな活動を宣言しませんか？

(例) ○全社を挙げた省エネ活動に取り組む
○脱炭素経営のための人材育成に取り組む
○自社のエネルギーの一部を再生エネで賄う
○脱炭素化に資する技術開発に取り組む など

**「ふくいSDGs パートナー」
登録制度に**

①登録済の企業・団体の皆様
▶ 宣言内容を変更・追加することができます

②まだ登録されていない企業・団体の皆様
▶ 新規登録とともに左記の宣言をお願いします

担当 福井県エネルギー環境部エネルギー課

TEL 0776-20-0302 E-mail energy@pref.fukui.lg.jp

申込方法は、県ホームページをご覧ください。

福井県エネルギー課 検索



福井県カーボンニュートラルポータルサイト

最終更新日 2022年8月17日 | ページID 050424 [印刷](#)



新着情報

令和4年8月 日 カーボンニュートラルポータルサイトを公開しました

 Facebookページ「2050 Carbon Neutral FUKUI」でも情報発信中！

目次

- 「カーボンニュートラル」とは
- なぜカーボンニュートラルを目指すのか
- 福井県の目指す姿
- 福井県環境基本計画について
- (1) 家庭で省エネに取り組みたい
- (2) 企業で省エネに取り組みたい
- (3) 次世代自動車を導入したい
- (4) 住宅・建物の省エネ化に取り組みたい
- (5) 再生可能エネルギーの取組みを知りたい
- (6) 新エネルギーの取組みを知りたい
- (7) SDGsとしてカーボンニュートラルに取り組む
- (8) カーボンニュートラルの出前講座を頼みたい



ご清聴ありがとうございました

参加者アンケートのご依頼

6/10「オール福井」で実現！カーボンニュートラル実現セミナー 参加者アンケート



ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。